

平成23年3月11日、東日本大震災で全壊した地下水族科学館もぐらんぴあ。それから5カ月後、8月5日に駅前の空き店舗を利用してオープンしたのが「もぐらんぴあ・まちなか水族館」です。以来4年7カ月、地域住民の憩いの場として、また駅前の観光拠点として約31万5千人の来館者を迎えてきたまちなか水族館は、3月末で仮営業に幕を閉じました。

再開を迎え、施設の運営を担う「あくあぶらんつ」宇部修代表に思いを聞きました。



久慈地下水族科学館
もぐらんぴあ 館長

宇部 修さん



「まちなか水族館」の
4年7カ月

私たち「もぐらんぴあ」スタッフは、津波で一度全てを失いました。その中でもらった希望、それが「まちなか水族館」でした。施設としては、あまりに小さなものだったかもしれませんが、スタッフみんなの思いがこもった手作りの水族館。運営する上でも、さまざま苦労がありましたが多岐のこと学ぶことができました。全国からお客さんに来ていただき、たくさんのお会いがありました。また、感謝してもらえないほどたくさんの方の応援や支援をいただきました。



親子連れでにぎわうまちなか水族館

だからこそ、3月に閉館するときには、後ろ髪をひかれるような気持ちがあったのも事実です。でも、それを踏まえた上で、今またこの「もぐらんぴあ」に携われることをうれしく思っています。これまで支えてくれた皆さんへの感謝、そして「まちなか水族館」の4年半で得た「経験」。



津波で流されていた「らんちゃん」も帰ってきました

るさとのような場所。また感動をギョーと一緒にできることを楽しみにしています」とエールを送りました。

また、もぐらんぴあ再開に合わせ、新たに公募されたイメージキャラクター「かめきち」がお披露目され、デザインを行った藤根咲樹さんに表彰状が贈呈されました。

この日は、館内でさかなクンのトークショーを交えた「南部もぐり」実演や、株式会社ネイキッドが平山小学校の児童らと制作したプロジェクト「シヨンマッピング」の上映などが行われ、家族連れなど約1200人の来場者を楽しませました。

久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ オープン！
5年ぶりの再開祝う

4月23日、再開の日を迎えた久慈地下水族科学館もぐらんぴあでオープニングセレモニーが開催。関係者や市民ら約200人が見守る中、テープカットが行われ、5年ぶりとなる営業再開を祝いました。式では、遠藤謙一市長が「もぐらんぴあは復興のシンボル。全国・海外からのお客さまを迎える『北三陸』の拠点としていきたいです」とあいさつ。続いて「もぐらんぴあ・まちなか水族館」応援団長として支援を続けてきたさかなクンに対し「もぐらんぴあ」応援団長の委嘱状を手渡しました。さかなクンは「来るたびに『おかえり！』と迎えてくれるふ



上/さかなクンに応援団長の委嘱状を手渡す遠藤市長 中/もぐらんぴあ再開への支援に対し、三井住友海上火災保険株式会社、浜のかあちゃんサークル、久慈たばこ販売組合の3団体に感謝状を贈呈 下/帰ってきた「らんちゃん」と新キャラクターの「かめきち」も大人気



これらを忘れることなく「もぐらんぴあ」に生かしていきたいと思っています。

新たなキーワードは
「地域の水族館」

「まちなか水族館」を運営していて実感したのが、水族館は単なる集客施設ではなく、外から訪れる人と「この地域」をつなぐ、交流の拠点だということ。

この北三陸には、海女や南部潜りなど、海と共に生きてきた歴史や文化があります。訪れる人と地元をつなぐ「地域の水族館」として、「この地域ならではのもの」を通して「この地域に触れてもらう



大型水槽では南部潜りの実演も

こと」は欠かすことが出来ないと思えました。魚の展示としては決して派手さはないかもしれませんが、今回、新たに整備した大型水槽は、海女や南部潜りの実演ができる「久慈の海」水槽として地元の海にこだわった展示にしています。

INTERVIEW



熊谷さん ご家族
勇一さん、由美さん、美波さん、美空さん、美里さん
(葛巻町)



久慈地下水族科学館
もぐらんぴあ
イメージキャラクター
かめきち

かめきち
をデザイン

藤根 咲樹さん
(門前)

みんなから愛されるキャラに

仕事で久慈に来て、震災から生き残ったウミガメが居ることを知りました。そこから着想を得て、復興への願い、そして一目で「久慈」「もぐらんぴあ」とわかるような要素を込めてデザインしました。着ぐるみもかわいく作っていただいて、大満足です。これから「もぐらんぴあ」のキャラクターとして全国から訪れる人たちに久慈をPRするとともに、みんなから愛されるキャラクターになってほしいです。

震災前より魅力アップ

もぐらんぴあには、震災前と「まちなか水族館」合わせて10回以上訪れています。体験型の水族館なので、子どもたちも楽しんでいました。新しい施設も広すぎず、親しみやすい大きさですね。以前は「ちょっと地味かな…」という印象もありましたが、久慈ならではの魚たち、そしてさかなクンの応援の力で、展示も一層グレードアップして魅力的になっていると思います。